

社会福祉法人謙心会 第19回理事会議事録

1 開催日時

令和3年3月25日 午後2時00分から午後3時30分まで

2 開催場所

栃木県大田原市加治屋83-81

特別養護老人ホームにちにちそう 地域交流スペース

3 理事総数 6人

4 出席した理事の数及び氏名 6人

理事 安藤美代子、井上昌子、鈴木多喜、中井本秀、吉成仁見、増淵則雄

監事 室井敏雄、相澤康子

5 報告

(1) 報告第3号 令和2年度資金収支補正予算(第2号)について

6 議題

(1) 議案第10号 令和2年度資金収支補正予算(第3号)について

(2) 議案第11号 令和3年度事業計画について

(3) 議案第12号 令和3年度資金収支予算について

(4) 議案第13号 定款の一部変更について

7 議事の経過及び結果

事務局 皆様こんにちは 新型コロナウイルス感染症につきましては、昨年から、面会の自粛、行事・イベントや内部の大きな会議等を中止しており、入居者、利用者、ご家族には不便やご迷惑をおかけしているところであります。なお、まだしばらくは、このような状況を続けざるを得ないのかと思いますと大変心苦しい次第であります。最近の特養への入居者と退去者は、昨年11月から本日迄、6名の方になります。お亡くなりになった方が5名おりました。ご冥福をお祈りいたします。入居者及び利用者の皆様方は、コロナ禍のなかでの生活にストレスを感じております。出来るだけの支援をしていきたいと考えております。介護サービス利用者の動向であります。このような状況の中でも、にちにちそうのご利用者は、減少することなく、通常の利用状況になっております。ありがたいことでもあります。市内の介護施設で職員と利用者に数名 コロナ感染症の陽性者がでましたが、クラスターにはならず、終息しましたので、一安心であります。本日は、年度末の午後のお忙しいところ理事会にご出席をいただき、誠に有り難うございます。それでは、第19回理事会を開催いたします。はじめに安藤理事長からご挨拶をお願いいたします。

理事長 本日はお忙しい中お集まりいただき有難うございます。新型コロナウイルス感染症の影響で、このように皆様とお会いできるのも久しぶりであります。このような中ですが喜ばしいこととして、先日は大田原中学校より車椅子の寄贈があり、たくさんの感動と励ましを頂きました。あつという間の4年ではありますが、最近感じることで認知症の利用者様が増えており、家族との関りの難しさであります。もう春も感じさせ桜も咲

いておりますが、日本人が桜を愛する理由として5つの事があるとのこと。1として集団性、2つ目として潔さ、3つ目として儂さ、4つ目として開放感、5つ目として艶めかしさ・艶やかさだそうです。これらが日本人の繊細さや優しさなどの心の文化がと感性マッチしているとの事です。私共もこれらを高めつつ行っていきたいと考えております。本日は宜しく申し上げます。

事務局 ありがとうございます。

次に、議長選出であります。定款第27条の規定によりまして、議長はその都度選任すると規定されておりますが、本日の理事会の議長につきましては、鈴木多喜理事にお願いしたいと思っておりますが、ご賛同いただけますでしょうか。

(異議なしの声あり)

ありがとうございます。それでは、鈴木理事よろしくお願いいいたします。

議長 鈴木でございます。それでは、しばらくの間、理事会の議長を務めさせていただきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいいたします。

議長 それでは報告に入ります。報告第3号 令和2年度資金収支補正予算(第2号)について、事務局の説明をお願いします。

事務局 報告第3号 令和2年度資金収支補正予算(第2号)についてご説明申し上げます。補正予算第2号は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業等に起因するものであります。介護サービス事業所や施設への支援でありまして、一つは、介護利用者とする職員に対する慰労金職員一人に対して5万円の支給であります。なお、施設に入るお金ではなく、職員に支給するものであるため、法人の予算に計上せず、職員からの預り金として会計処理をいたしました。総額が5,250千円で11月5日から支給をはじめ完了しております。二つ目が、感染症対策を徹底するため、職員の雇用経費や物品購入費用であります。2ページの社会福祉事業の収入3,880千円は補助金収入であります。次の頁であります。人件費に2,160千円、事業費に1,210千円を予算措置しました。次に、6ページのかじや拠点区分の予算であります。補助金事業収入に3,081千円計上しております。次に、支出であります。非常勤職員給与に880千円を計上しております。内訳は、ショートステイに240千円、みはらのデイサービスに640千円あります。派遣職員費は特養分で1,000千円の計上あります。保健衛生費470千円、消耗器具備品費に381千円を計上しておりますが、特養、ショート、デイサービス、小規模多機能施設かじや、居宅支援の経費であります。施設整備費等の器具及び備品取得に350千円を計上しておりますが、小規模多機能施設かじやの経費でパソコンを2台更新しました。次に、10ページのふじみ拠点区分の予算であります。補助金事業収入に799千円計上しております。次に、支出であります。非常勤職員給与に280千円を計上しております。グループホームふじみの人件費であります。保健衛生費120千円、消耗器具備品費に239千円を計上しておりますが、グループホームふじみと小規模多機能施設もとまの経費であります。施設整備費等の器具及び備品取得に160千円を計上しておりますが、小規模多機能施設もとまの経費でパソコンを1台増設しました。以上で説明を終わります。

議長 事務局より報告の説明が終わりました。皆様、質疑、意見等がございましたらお願いします。

(特に何もなしとの声)

議長 質問もないようでありますので、報告を終わります。

議長 それでは、議事に入ります。議案第10号 令和2年度資金収支補正予算(第3号)について議題といたします。事務局の説明をお願いします。

事務局 議案第10号令和2年度資金収支補正予算(第3号)につきましてご説明申し上げます。15ページの社会福祉事業をご覧ください。真ん中の今回補正額の欄をご覧ください。介護保険収入に4,650千円、居宅介護料収入に1,500千円、地域密着型の介護報酬に2,300千円、利用者等利用料収入に850千円を計上いたしました。16ページの支出であります。人件費に4,370千円、事業費に300千円を計上いたしました。詳細は拠点区分の予算でご説明いたします。19ページのかじや拠点区分からご説明いたします。介護報酬収入1,500千円は、ショートステイの利用増により計上しそれに伴い、居住費の増額が見込めますので、850千円を計上しております。地域密着型介護料収入は、特別養護老人ホームの収入増としまして、2,000千円を計上いたしました。次のページの支出であります。職員給料4,350千円は、特養の職員給料に2,000千円、ショートステイの職員給料に2,350千円を計上いたしました。役員報酬は、理事の報酬の不足額20千円の計上であります。次に、23ページのふじみ拠点区分ですが、介護報酬に300千円を計上いたしました。グループホームふじみの収入増を見込みました。次のページになりますが、消耗器具備品費に同額の300千円を計上しております。ふじみの消耗品等の購入の不足額を計上しております。以上で説明を終わります。

議長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。何かご質問があればお願いしたいと思います。

(特に何もなしとの声)

議長 質問もないようでありますので、お諮りいたします。

議案第10号については、原案のとおり、承認することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

議長 異議なしと認めます。議案第10号令和2年度資金収支補正予算(第3号)については、原案のとおり承認することに決定いたします。

議長 次に、議案第11号 令和3年度事業計画について議題といたします。事務局の説明をお願いします。

事務局 令和3年度の社会福祉法人謙心会事業計画をご説明申し上げます。新年度も基本方針・基本理念に変更はありません。法令を遵守し、地域や行政との連携を図りながら、良質なサービスを職員一丸となって提供していく所存であります。又、評議員の開催は6月に、理事会は6月、10月、3月に、法人監査は5月に実施予定です。法人全体としての新年度目標は、前年度の4項目に「施設・設備の改善」と「感染症予防対策の強化」を新たに加えました。「健全経営」については、安定的な収入を確保するために各事

業所が創意工夫し稼働率のUPを目指すと共に介護報酬の改定にて新たに示された取得可能な加算を積極的に算定できるように体制や業務内容を見直していきたくて考えております。「地域貢献」については、先の下野新聞にも取り上げていただきましたが、近隣小中学校との交流を継続して行っていきます。又、実習生の受け入れや職場体験・出前講座など大田原市社会福祉法人連絡会での活動と合わせて行っていきたくて考えております。「サービスの質の向上」については、積極的な研修を重ね専門知識と技術向上に努めてまいります。又、新たに求められている科学的介護、科学的介護とは多数のサービスやケアの内容等の症例や臨床結果等を記録・分析して共有することで積み上げた科学的根拠を情報として利用者へ示し、自立支援や重度化防止に向けた適切なサービス支援に繋げることを言います。例えば脳卒中で3メートル程度しか歩行できない要介護者に対して、科学的根拠に基づいたサービス内容を提示し実施した結果、杖を使用して20メートルの歩行ができる可能性があるなどです。そのシステム導入に向けた取り組みを推進してまいります。次に「人材育成と人材確保」については、資格取得支援や次世代リーダーの育成に力を注ぐと共に働きやすい職場環境作りの推進とワークライフバランスの実現に向けた取り組みを強化してまいります。「施設・設備の改善」につきましては、老朽化の進む施設や設備を計画的に補修・改修及び設備入れ替えを進めていきたくて考えております。又、「感染症対策の強化」として、新型コロナウイルス感染症を中心とした感染症対策をより強固に行うための委員会活動やマニュアルの見直しを行ってまいります。以下、4ページから5ページの事業所名や組織図に、大きな変更はございません。6ページに移りまして、支援内容・基本業務についてですが、基本方針は、一人ひとりの個性を尊重した支援、チームケアの実践、地域との関わりを大切にするこの3点であります。介護支援ではユニットケアの更なる推進を目指してまいります。以降、ケアマネジメントの充実、事故防止への取組、身体拘束の廃止、虐待防止、認知症への取組を介護支援の柱として実施してまいります。健康管理については、嘱託医や各医療機関と看護職員等が連携を取りながら進めてまいります。新年度の目標は「エビデンスに基づいた医療・看護の提供」とし、6項目を挙げました。令和2年度からは当施設でも点滴を実施することが可能となり、より高まる医療的なニーズも対応できるよう看護職員と介護職員の連携強化と喀痰吸引・経管栄養が行える介護士の育成を更に進めてまいります。又、看取り介護や感染症・食中毒・褥瘡予防についての知識を深め、これまで以上に良質なケアが提供できるように努めてまいります。栄養・調理業務については、食は最大の楽しみの一つであります。栄養バランスの取れた美味しい食事が提供できるよう、メニューの充実も図り、見ても楽しめるように季節を感じられる工夫なども行っていきたくて考えております。新年度は、一人ひとりの状態に合った最適な食形態での食事提供と、楽しく食事を摂れるような雰囲気づくり、健康の増進・維持につながる栄養管理を目標に行ってまいります。管理・運営につきましては、会議はこれまで同様に管理者・中間管理者・現場の3階層で行い、点在する事業所間での意思統一を図ってまいります。委員会活動では、5つの委員会を定期的開催し、法人全体のニーズや問題解決に取り組んでまいります。職員研修についても、職場内外の研修へ積極的に参加し、職員全体

のスキルアップを図ってまいります。防災計画については、防災計画に沿って各種訓練を実施し、有事の際にも冷静に行動できるようにしていきたいと考えております。地域交流活動では、家族・地域との交流、ボランティアや実習生の受け入れ等を積極的に取り組んでまいります。広報活動もホームページ内のブログ更新や年4回の広報誌の発行にて、情報の発信に努めてまいります。苦情処理体制につきましても、速やかに適切な対処ができるようにしてまいります。個人情報の保護・法令遵守についても職員に徹底してまいります。情報の公開は介護保険事業者として重要なこととなります。既存のシステムを活用し、積極的に実施してまいります。資源の節約も積極的に取り組み、大田原中学校福祉委員会のリサイクル活動にも協力してまいります。財務管理は、電算処理にて合理的に管理していきます。施設整備につきましては、新年度は、ふじみのエアコン整備・もとまちの屋根修繕・特養の中庭整備を計画的に進めてまいります。次からは事業所別計画となります。特別養護老人ホームは、開設5年目を迎えます。新年度は、入居者様一人ひとりをより深く理解し、更なる質の高い個別ケアの推進に努めていくと共に地域との連携強化を図りながら親しみのある施設作りを進めてまいります。又、各ユニットにおいては、前年度の反省を活かして現在の課題を新たな目標として掲げました。入居者様により安心して穏やかな暮らしができるような関係・環境作りに努めてまいります。各種行事やクラブ活動・ボランティア受け入れ等はコロナウイルスの発生状況をみながら法人全体として実施を検討してまいります。運営推進会議につきましても、例年同様に小規模多機能施設のかじやと共同で開催し、入居者様やその家族様の意見を反映できる会議にしてまいりたいと考えております。続きまして短期入所生活介護のショートステイですが、本体の特養と同様に5年目を迎えます。前年度は新型コロナウイルス感染症の影響で利用者様に十分な楽しみを提供することができませんでした。新年度は十分な感染症対策を行った上で職員が創意工夫しながら楽しみの提供をしていきたいと考えております。身体機能の維持向上や感謝の気持ちを伝え合う「ありがとう運動」の推進、情報共有と連携強化も重要なポイントとして実施してまいります。続いては通所介護事業となります。利用者様一人ひとりの残存する能力を最大限に活かし、身体機能の維持・向上に向けた支援に力を入れてまいります。意向をしっかり聴き取り、丁寧な対応を心掛け気持ち良く過ごして頂けるよう努めてまいります。報連相の徹底や安全な送迎支援にも努めてまいります。又、積極的にPR活動を行い稼働率アップにも力を入れていきたいと考えております。19ページからは認知症対応型共同生活介護事業となります。入居者様はもとより職員も含めて一つの家族として皆が笑顔で充実した日々を過ごせるように取り組んでまいります。又、いつまでも元気でお過ごしいただけるよう残存機能を活かしたケアにも力を入れてまいります。続きまして小規模多機能型居宅介護事業となります。かじやでは、感染症対策・要望に対する迅速対応・敬いの気持ちと笑顔の発信を目標に取り組んでまいります。もとまちでは、思いやりの気持ちを持って良好な職場作りを進めていくと共にご利用者やご家族の潜在的な思いにも気付けるような丁寧な対応を徹底して行ってまいります。最後に居宅介護支援事業ですが、感染症に対する不安に配慮しつつ、質を低下させないようなケアマネジメントの推進といつまでも

住み慣れた地域で安心して暮らせるための地域包括ケアの推進に取り組んでまいります。以上で事業計画の報告を終わります。尚、令和3年度は介護報酬の改定が行われます。プラス改定となるため、利用料の負担も増えることとなります。ご利用者及びご家族様にしっかりとご理解・ご納得いただけるよう丁寧な説明を行うと共に料金的な負担の増改に見合った良質なサービスを提供できるよう職員一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。

議長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。何か、ご質問があればお願いしたいと思います。

井上理事 4ページの2・(1)⑤にユニット費とありますが、どのようなものですか。

事務局 各ユニットや事業の所長及び主任に対して、毎月5千円～8千円で利用者や入居者及び環境整備のために職員が話し合いの中である程度自由に使える費用として支給しているものとなります。

井上理事 分かりました。

議長 他に質問があればお願いします。

吉成理事 コロナウイルスのワクチン接種は嘱託医が行ってくれるのですか。

議長 嘱託医の所属する那須中央病院に協力を得て、当施設で接種して頂く予定で進めております。

吉成理事 ふじみ事業所はどうなんでしょうか。

事務局 特養と一緒に行っていきたいと考えておりますが、難しいようであれば吉成先生にもご相談させて頂きたいと思っておりますので宜しくお願いします。

吉成理事 分かりました。

議長 他に質問があればお願いします。

中井理事 新年度の目標で老朽化の進む施設や設備の整備とあり、15ページの13で具体的に示されておりますが、ふじみやもたちなどは大分老朽化も進んでいると思いますが、エアコン整備や屋根の修繕程度で足りるものなんでしょうか。

事務局 将来的な望みとしては、かじや施設の隣地にみはら及びふじみ施設を移転したいと考えておりますが、現状ではそのための資金も不足しているため、難しい状況です。

中井理事 現在、みはらやふじみは賃貸となっており、法人所有となっていないようです。安定的な経営をする上で、可能であれば所有できることが望ましいと思います。以前に福祉充実計画で、あまり利益でせないというような話を聞いた気がしますので、もし資金に余裕があるのであれば賃貸物件の取得や施設整備に当てたら良いと思いました。

事務局 おっしゃる通りであります。現在当法人では多額の借り入れがありますので、福祉充実計画策定の対象になっておりません。もう少し自己資金が貯まりましたら改めて皆様にも意見を頂きながら進めていきたい考えであります。

中井理事 分かりました。

議長 他に質問があればお願いします。

中井理事 介護報酬の改定に伴い利用者負担が増加してしまうとの事ですが、どのようなことなのでしょう。

事務局 現在、各利用者様の負担割合に応じて、介護サービス費の1～3割の負担をして頂いておりますが、その基本介護サービス費が改定により高くなります。又、新たな加算も示されましたので、それが算定となる場合にはその費用も介護サービス費に加わりますので、利用者様の負担が増えてしまうこととなります。

中井理事 改定に伴う何か補助的なものはないのですか。

事務局 低所得者に対しては既存の減免制度がありますが、今回の改定での補助的な施策は示されておりません。

中井理事 分かりました。

議長 他に質問があればお願いします。

(特に何もなしとの声)

議長 他に質問もないようでありますので、お諮りいたします。

議案第11号については、原案のとおり、承認することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

議長 異議なしと認めます。

議案第11号 令和3年度事業計画については、原案のとおり承認することに決定いたします。

議長 次に、議案第12号 令和3年度資金収支予算について議題といたします。事務局の説明をお願いします。

事務局 令和3年度資金収支予算についてご説明いたします。 サービス区分毎の予算につきましては、本日参考資料としてお配りしましたので、後でご覧ください。29ページの社会福祉事業の収支予算書は法人全体のものになります。全体の介護保険事業収入が約4億6千3百万円、収入合計は、467,439千円で前年度と比較して26,811千円の増額であります。30ページの事業活動支出計が438,064千円で前年度と比較し37,402千円の増額になっております。32ページの当期資金収支差額は13,461千円となります。それでは詳細につきまして、拠点区分毎に説明いたします。33ページのかじや拠点区分の予算をご覧ください。かじや拠点は、本部、特養、ショート、かじやの小規模多機能施設、デイサービス、居宅介護支援の6つのサービス区分をまとめた予算であります。左側の本年度予算額を中心に説明いたしますのでよろしくをお願いします。一番上の行の介護保険事業収入は、3億4千4百27万9千円で、前年度と比較し、2千3百31万8千円の増額計上となっております。増額の要因は介護報酬の改定と利用者増であります。居宅介護料収入は、7千9百12万4千円でショートステイとデイサービスの収入で、ショートが3千3百71万4千円でデイサービスが4千5百41万円で前年度との比較で、6百7万5千円の増額であります。次の、介護報酬収入は、ショートとデイサービスの介護報酬の約9割分で7千1百44万5千円の計上であります。利用者負担金収入7百67万9千円は、ショートとデイサービスの利用者が負担する介護報酬の約1割分の計上で前年度と比較し、61万3千円の増額であります。地域密着型介護料収入1億9千5百26万4千円は、特養の1億2千3百62万2千円、かじや小規模多機能施設かじやの7千1百64万2千円で前年度と比較し1千

8百23万9千円の増額であります。次に、介護報酬収入1億7千94万4千円は、特養とかじやの介護報酬の約9割分あります。2行飛んで利用者負担金収入は、特養とかじやの利用者が支払う約1割分の利用者負担金で2千4百32万円の計上であります。4行飛んで、居宅介護支援介護料収入は、ケアマネ業務に伴う介護報酬で、5百44万7千円で前年度と比較し1百13万円減額であります。次に、利用者等利用料収入6千2百27万円は、特養、ショート、小規模かじや、デイサービスの食費、居住費で、前年度と比較し29万2千円の増額計上であります。内訳は、特養が3千7百12万8千円、ショートが1千60万8千円、小規模かじやが1千3百31万6千円、デイサービスが1百21万8千円であります。その他の事業収入2百17万4千円は、職員研修のキャリアアップ助成金1百20万円、高齢者等雇用のハローワークからの助成金50万円、介護予防のケアプランの受託事業収入に47万4千円を計上しております。受取利息配当金収入は、前年度と同額の5万5千円であります。次に、その他の収入3百9万3千円は、職員の給食費の収入、学生等を受け入れときの研修の謝礼金等であります。事業活動収入計は3億4千7百42万7千円で前年度と比較し、2千2百77万円の増額であります。次に、34ページの支出をご覧ください。まず、人件費であります。人件費に2億5千9百88万5円を計上いたしました。前年度と比較し、3千1百61万7千円の増額であります。今年度は、法人全体で収入に占める人件費の割合は、73%に達しており、削減をしなければなりません、特定処遇改善加算が創設されたことや、どうしても介護離職が続きますので、少し多めの人員配置をせざるを得ない状況にありますことをご理解いただきたいと存じます。内訳は、本部が5百21万5千円、特養が1億2千4百32万円、ショートが2千7百25万9千円、小規模かじやが6千1百54万4千円、デイサービスが3千7百62万7千円、居宅介護が3百92円であります。人件費の内訳は、理事長、理事、監事、評議員の役員報酬5百21万5千円、職員給料の1億1千7百30万円、職員賞与の2千8百51万円で夏は1.5か月、冬は2か月分計上しております。非常勤職員給与に6千7百5千円で、臨時職員の賞与は夏0.5か月、冬1か月分を計上しております。派遣職員費は、特養に1名配置を予定し、1百92万円の計上で、退職給付は、5百40万円で正職員の退職金の積み立てであります。法定福利費は、厚生年金や社会保険の事業者負担分の計上で、3千4百53万5千円の計上であります。次に、事業費であります。4千2百56万1千円で、前年度とほぼ同額の計上であります。給食費が1千6百30万円で入居者や利用者の給食の材料費であります。介護用品費は、特養の入居者のオムツ代が主で2百58万2千円の計上であります。入居者の重度化によってオムツの使用量が増加しております。教養娯楽費は、1百90万7千円で夏祭りや敬老会等の費用であります。水道光熱費は、1千1百31万円で、そのうち特養は、6百73万円の計上であります。消耗器具備品費は、2百40万円の計上で、保険料が1百44万円、賃借料が1百95万8千円、車輛費が3百21万円で車の燃料費、車検代の経費であります。次に、事務費支出であります。2千3百7万2千円を計上し、昨年度ほぼ同額であります。福利厚生費は、2百52万円の計上であります。職員互助会への補助金も含まれております。互助会への加入職員は現

在91名で組織してから3年目を迎えますが、各種事業を順調に進めております。研修研究費は、1百88万円で幹部職員研修、ユニットケア研修、痰の吸引の研修を実施してまいります。事務消耗品費に1百20万円、修繕費に2百40万円、通信運搬費に1百35万円、業務委託費に3百18万7千円を計上したいが、嘱託医等の費用であります。賃借料に4百16万4千円を計上しておりますが、介護ソフトやパソコンのリース料等であります。土地・建物賃借料に1百89万円の計上であります。利用者負担軽減額に1百62万円を計上しておりますが、特養の入居者で低所得者4名分を社会福祉法人として利用料の一部を軽減しております。支払利息2百89万円は、福祉医療機構と栃銀への借入金の利子であります。事業活動支出計は、3億3千2万8千円で次の行の収支差額は、1千7百33万9千円であります。35ページをお願いします。施設整備等による収支は、ショートステイに車の購入を予定し、補助金として2百万円を購入費として2百万円を計上し、設備資金借入金元金償還に1千3百52万4千円を計上しておりますが、福祉医療機構と栃銀への償還額であります。機構へ 890,000 10,680,000 栃銀 237,000 2,844,000 建物取得支出として、1百80万円を計上しておりますが、昨年度も中庭にウッドデッキを設置したいと計上しましたが、実現に至らず、再度の計上であります。施設整備等資金収支差額は、マイナスの1千5百32万4千円であります。36ページになりますが、その他の活動収入としまして、拠点区分間繰入金収入として3百50万円を計上しておりますが、小規模多機能施設もとまちから、特養に2百万円、デイサービスに1百50万円を繰入いたします。参考までに、拠点区分の予算には相殺されて計上されていませんが、サービス区分間繰入金収入として、本部に6百万円、特養に8百万円の計1千4百万円を計上し、サービス区分間繰入金支出として同額1千4百万円を計上しており、ショートから4百万円、かじや小規模多機能施設1千万円の支出であります。当期資金収支差額は、5百18万5千円で当期末支払資金残高は、4千51万1千円であります。次に、ふじみ拠点区分の予算につきまして、ご説明いたします。37ページをご覧ください。ふじみ拠点区分は、ふじみのグループホームと小規模多機能施設もとまちの予算であります。始めの行の介護保険事業収入は、1億1千8百80万9千円で前年度と比較し3百91万8千円の増額であります。内訳を申しますとふじみが4千1百36万2千円、もとまちが7千7百44万7千円あります。地域密着型介護料が9千5百20万6千円で、ふじみが3千1百7万5千円、もとまちが6千4百13万1千円あります。介護報酬収入が介護報酬の約9割で8千5百69万5千円となり、利用者負担金収入が介護報酬の約1割分で9百51万1千円あります。利用者等利用料収入が2千3百60万3千円でふじみが1千28万7千円、もとまちが1千3百31万6千円あります。利用者が負担する食費と居住費であります。その他の利用料収入2百16万3千円は、ふじみの利用者が負担する光熱費、もとまちの洗濯代等であります。その他の収入1百18万3千円は、職員の給食費等であります。事業活動収入計は、1億2千1万2千円となります。次のページの支出の人件費であります。8千5百95万4千円を計上し、前年度と比較し、6百37万3千円の増額であります。ふじみに3千21万円、かじやに5千5百74万4千円の

計上であります。収入に占める人件費の割合は、71.6%であります。職員給料に2千5百32万円を、職員賞与に5百77万5千円を、非常勤職員給与に4千2百5万5千円を、退職給付に1百8万円を、法定福利費は社会保険等の事業者負担分ですが、1千1百72万4千円を計上いたしました。次に、事業費支出に1千4百18万3千円を計上いたしましたが、前年度と比較し、15万4千円の減額であります。給食費に6百11万6千円を水道光熱費に3百90万円、消耗器具備品費に1百万円を計上いたしました。事務費支出に7百35万9千円を計上し、前年度と比較し、1百22万1千円の減額であります。修繕費に2百万円を計上したいが、ふじみに1百万円、もとまちに1百万円の計上であります。賃借料に1百34万1千円を計上しましたが、介護ソフト、パソコン等のリース料であります。土地・建物賃借料に88万千円を計上し、前年度と比較し1百22万4千円の減額であります。もとまちの土地建物を昨年度購入したためであります。事業活動支出計が1億8百3万6千円で事業活動資金収支差額は、1千1百97万6千円であります。40頁をお願いします。拠点区分間繰入金支出に3百50万円を計上しておりますが、もとまちから特養への繰入金支出であります。下から3行目ではありますが、当期資金収支差額合計が8百27万6千円で当期末支払資金残高は2千2百91万6千円あります。以上で説明を終わります。

議長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。何か、ご質問があればお願いしたいと思います。

中井理事 介護保険事業収入が増える見込みの中で、人件費も増えているようですが、職員さんの給与もかなり増やすことができますか。

事務局 処遇改善加算額は実績に応じて変動があるため、収入が増えれば職員への支給額も増えることとなります。今年度の予算では、例年は当初予算より人件費が増えてしまい補正を行っていたため、そのようなことのないよう人件費を多めに取っております。

中井理事 そうですか。分かりました。

議長 他に質問があればお願いします。

(特に何もなしとの声)

議長 質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第12号については、原案のとおり、承認することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

議長 異議なしと認めます。

議案第12号 令和3年度資金収支予算については、原案のとおり承認することに決定いたします。

議長 次に、議案第13号 定款の一部変更について議題といたします。事務局の説明をお願いします。

事務局 定款の変更についてご説明いたします。43ページの新旧対照表をご覧ください。令和2年11月4日に大田原市の指導監査が実施され、定款について一部の誤字、脱字があることと基本財産の特別養護老人ホームの土地の地積について、少数点以下第2位まで表示するよう指導がありましたので、変更するものであります。まず、その過半数を

と「を」が抜けているための変更と監事がと「か」を「が」に変更するものであります。次に、基本財産を定めております、第30条第1項第2号の土地の変更であります、98㎡を98.37㎡と小数点以下2桁を加えるものであります。なお、この定款の施行期日であります、市からの認可があった日からとしますので、ご了承をお願いいたします。以上で説明を終わります。

議長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。何か、ご質問があればお願いしたいと思います。

(特に何もなしとの声)

議長 質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第13号については、原案のとおり、承認することにご異議ございませんか。

(全員から異議なしの声あり)

議長 全員異議なしと認めます。

議案第13号 定款の一部変更については、原案のとおり承認することに決定いたします。

議長 以上で、本日予定した議事は、すべて終了いたしました。次に、その他に移りますが、皆さんから何かございましたら、お願いしたいと思います。

(特になし)

議長 それでは、事務局からお願いします。

事務局 令和3年度介護報酬の改定について、介護職員等特定処遇改善加算について、今後の予定についての以上3件を説明いたします。

令和3年度介護報酬の改定について、介護報酬の改定の概要であります、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向けて、2040年を見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取り組み推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を図っております。改定率はプラスの0.7%と発表されております。具体的な数字で申し上げますと 要介護3の方の1日あたりアップを見ますと 特養で162円 ショートステイで142円 デイサービスで91円 グループホームで30円 小規模多機能施設は月単位で1,281円 ケアプラン料は254円のアップであります。年間のアップ額は、全事業所併せて おおまかに3百万円程度が見込めそうであります。加算関係の介護報酬の改正もありますし、新しく創設された加算もありますが、詳細がわかりませんので、今後検討して対応してまいります。

介護職員等特定処遇改善加算について、特定処遇改善加算については、リーダー級の介護職員について他産業と遜色ない賃金水準の実現を図りながら、介護職員の更なる処遇改善を行うという趣旨で令和元年度の下半期からスタートしましたが、令和3年度から制度の趣旨は維持しつつより活用しやすい仕組みとする観点から平均の賃金改善額の配分ルールにおける「経験・技能のある介護職員」は「その他の介護職員」の2倍以上とすることにきめられておりましたが、改正により「より高くすること」と見直しがさ

れました。にちにちその場合で言いますと、従来の制度ですと、最高額を支給している職員は3名おり、月額30,800円でしたが、見直しにより25,600円とする予定であります。

今後の予定であります。4月8日に評議員会、5月27日に会計監査、6月5日の土曜日に理事会、6月22日に評議員会、6月26日に理事会を予定しております。また、夏祭り等の大きな行事につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら開催するかどうか決めていきたいと思っております。以上でその他の説明を終わります。

議長 事務局からの説明がありました。何かご質問はございませんか。

(特に何もなしとの声)

議長 処遇改善で、支給額が減ってしまうという事ですか。

事務局 最高額の支給を受けている職員は減額となってしまいますが、その分を他の職員に分配するという事です。

議長 わかりました。


議長 質問もないようでありますので、これをもちまして議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。


閉会 (午後3時30分)


以上の議事の顛末を記録し、これを証するため署名押印する。


令和3年 4月 / 日


議長 鈴木多喜 


理事名 吉成仁見 

理事名 井上昌子 

理事名 印井本秀 

理事名 宇藤美代子 

理事名 増測 則雄 

監事名 室井敏雄 

監事名 相澤康子 